株式会社 ティービーアイ

取扱説明書

システムコントローラ　SCC-3100A

30倍ズームカラードームカメラ　SPD-3000N
システムコントローラ　　SCC-3100A

「機器の設置、設定および操作編」

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み下さい。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

［第２版］　2006:10:17

構成

30倍プリセットドームカメラ	SPD-3100N
システムコントローラ	SCC-3100A
天井直付け金具	STB-330PC
天井埋め込み金具	STH-330PE
ハウジング(屋外/屋内)	STH-330PO/PI
壁面設置用マウント	STB-270PW
カメラ専用電源	AC24V3A 専用付属
カメラ取付金具	専用　付属

株式会社　ティービーアイ

目　次

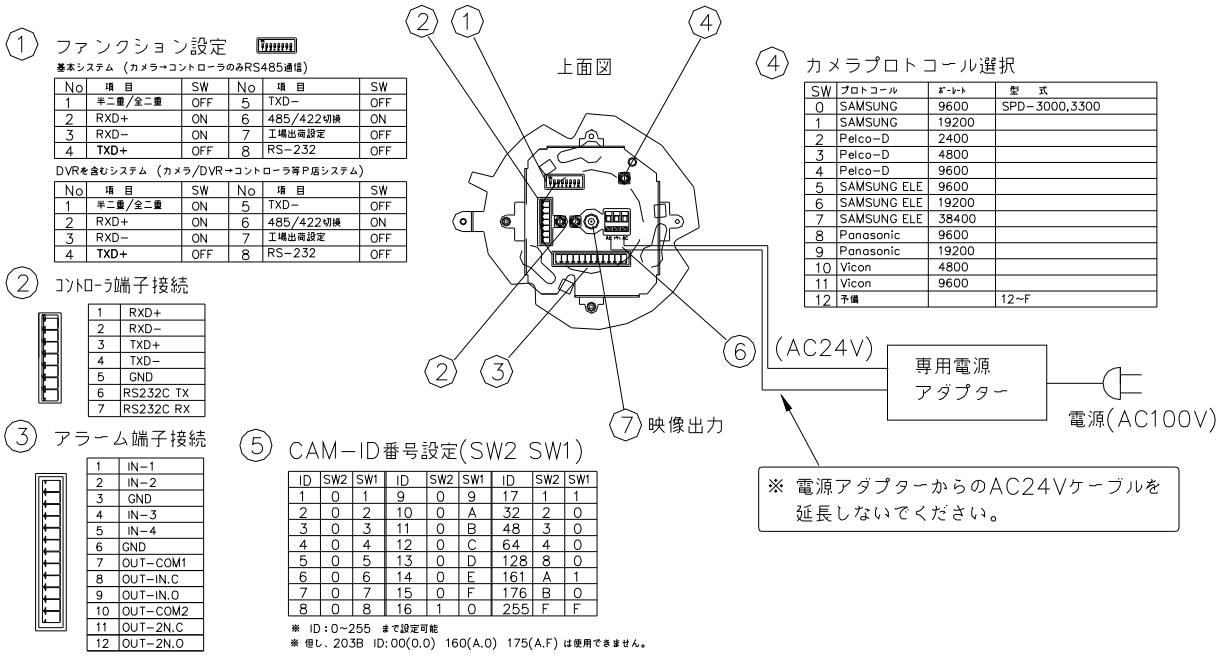
1.概要 ・・・

SCC-3100A コントローラは SPD-3000 カメラおよび SVR-430/440/1630/1650 の DVR の操作を含めた操作ができます。
システムは以下の中から構成します。

- 基本構成：
  カメラ(SPD-3000)とコントローラ(SCC-3100A)で、最大 255 台までのカメラに対応します。
- 大規模システム：
  カメラ(SPD-3000)，マトリクススイッチャー、コントローラ(SCC-3100A)、その他映像機器を含むもので、パチンコ店などでカメラ台数も 254 台まで可能です。

2. カメラ設置時の設定

(2.1) 基本接続図 ‥‥カメラ取付金具の端子図および設定図



(2-2) 設置時の注意事項

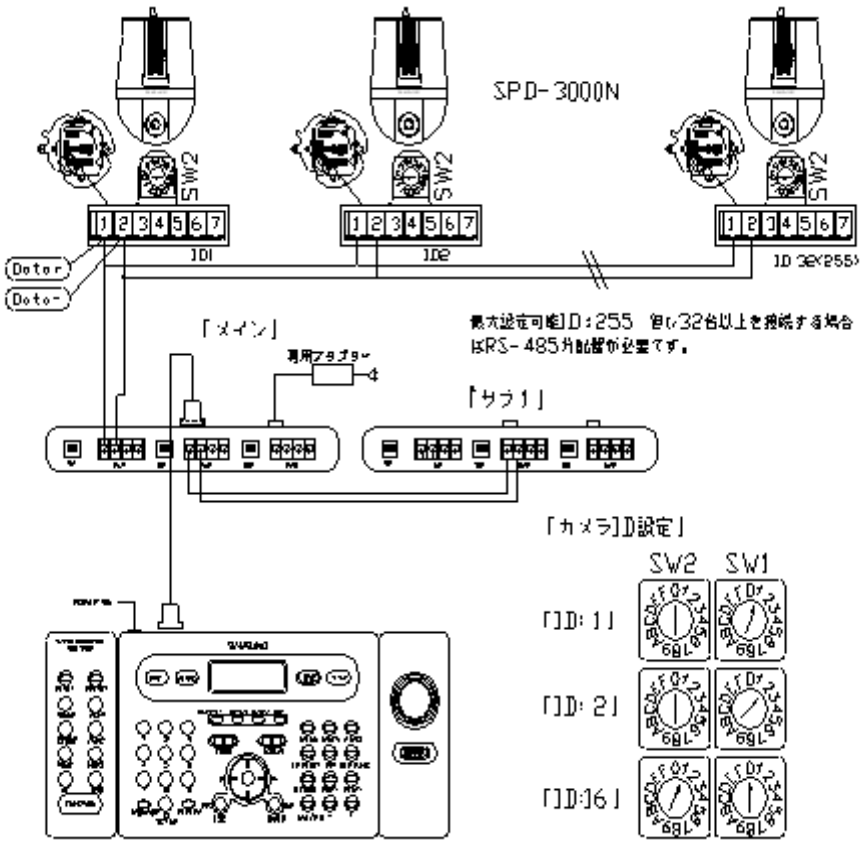
■ 電源ケーブル：本カメラは専用アダプターから AC24V を接続します。アダプター出力ケーブルを延長せず、そのまま使用してください。(電圧低下のおそれがあります)

■ コントロールケーブル：カメラ制御用ケーブルは、ツイストペアーと呼ばれる「撚りあわせ」ケーブルを使用してください。ケーブルはシールド付きを使用してください。

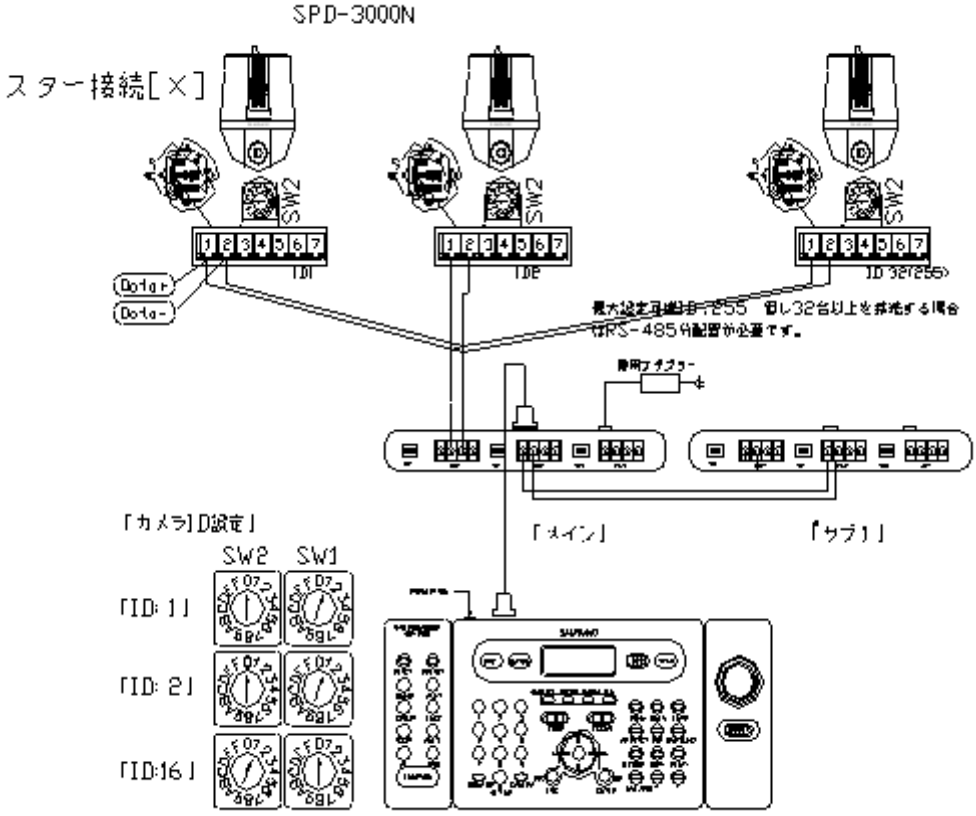
■ カメラ ID 番号の設定：本カメラの ID はカメラ取り付け金具側で設定してください。
必ずカメラ取り付け金具を**「取り付ける前に」**設定してください。
！！設置後に設定はできません！！

(2-3) 制御線の配線

カメラの RS-485 コントロール線は、下図の様に各カメラに並列に順次接続します。



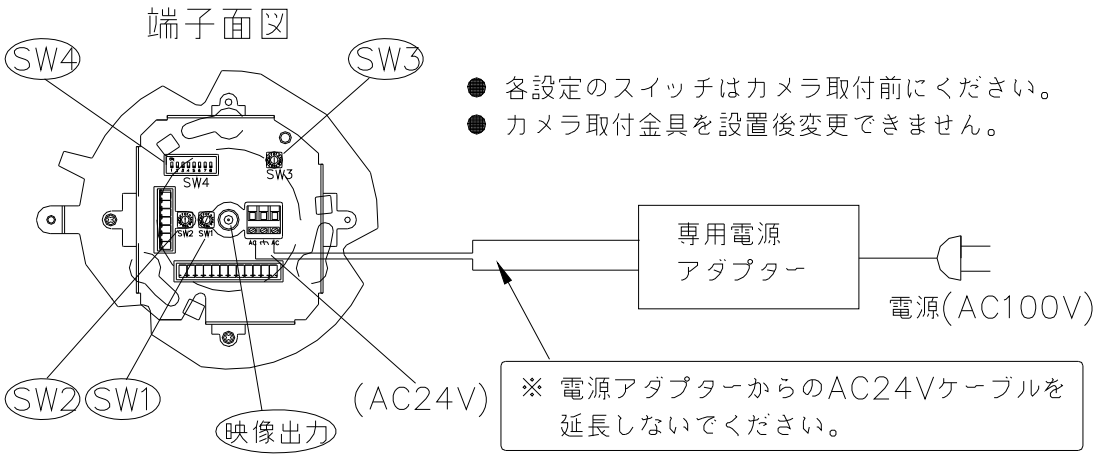
「スター接続」：この接続は誤動作の原因となり、建物の構造上やむ得ない場合以外はお勧めできません。



⑵-4) カメラ端子図と電源の接続

■ カメラ電源は AC24V 専用アダプターで接続します。他の電源は接続できません。

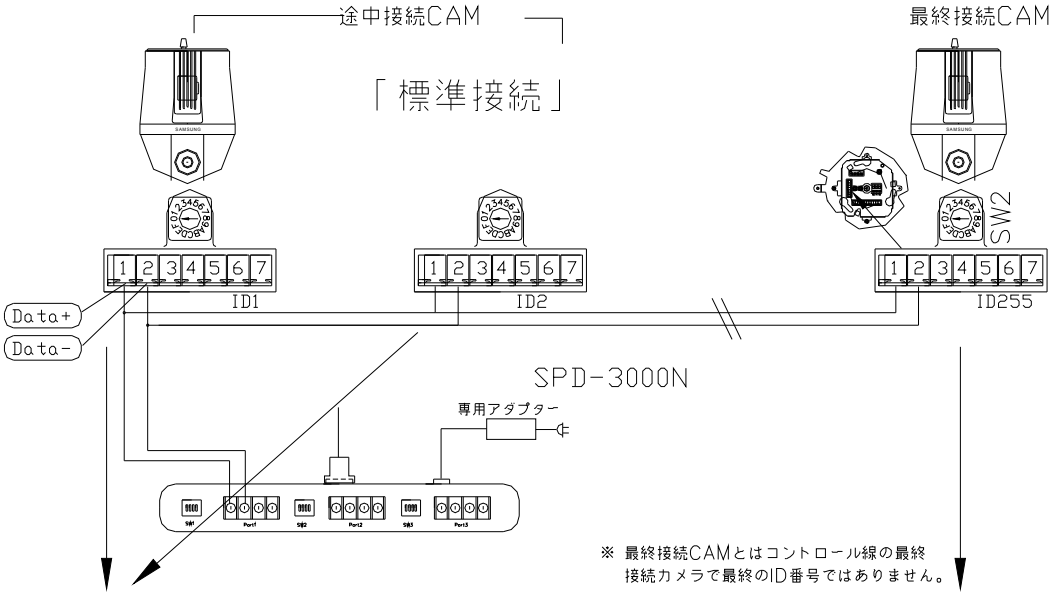
■ アダプター出力 AC24V 部分を延長してはいけません(電圧低下により動作不良が発生します)



⑵-5) カメラファンクションの設定　　「SW4」

■ RS-485 の設定と終端抵抗の設定

「SW4」；RS-485 は標準が「半二重」通信で No.1＝OFF に設定します。(配線は２芯)



カメラ→コントローラ: RS485通信　※ 最終接続以外の設定

No	項　目	SW	No	項　目	SW
1	半二重/全二重	OFF	5	TXD−	OFF
2	RXD+	OFF	6	485/422切換	ON
3	RXD−	OFF	7	工場出荷設定	OFF
4	TXD+	OFF	8	RS−232	OFF

カメラ→コントローラ: RS485通信　※ 最終接続の設定

No	項　目	SW	No	項　目	SW
1	半二重/全二重	OFF	5	TXD−	OFF
2	RXD+	ON	6	485/422切換	ON
3	RXD−	ON	7	工場出荷設定	OFF
4	TXD+	OFF	8	RS−232	OFF

■　終端抵抗

カメラを２台以上接続した場合（前ページ）コントローラから配線して最終に接続するカメラに対して、終端抵抗をONとします。SWは**[2ピン]=ON　[3ピン]=ON**です。その他のカメラはすべて[OFF]とします。

⑵-6) カメラIDの設定　**「SW2」「SW1」**

カメラIDは「SW2」,「SW1」デジィットスイッチで下表の様に**ID1～ID255まで設定できます。**

但し、**1D:160、175**は他のコマンドと競合するため使用できません。

ID	SW2	SW1	ID	SW2	SW1	ID	SW2	SW1	ID	SW2	SW1
1	0	1	16	1	0	31	1	F	46	2	E
2	0	2	17	1	1	32	2	0	47	2	F
3	0	3	18	1	2	33	2	1	48	3	0
4	0	4	19	1	3	34	2	2	49	3	1
5	0	5	20	1	4	35	2	3	50	3	2
6	0	6	21	1	5	36	2	4	51	3	3
7	0	7	22	1	6	37	2	5	52	3	4
8	0	8	23	1	7	38	2	6	53	3	5
9	0	9	24	1	8	39	2	7	54	3	6
10	0	A	25	1	9	40	2	8	55	3	7
11	0	B	26	1	A	41	2	9	56	3	8
12	0	C	27	1	B	42	2	A	57	3	9
13	0	D	28	1	C	43	2	B	58	3	A
14	0	E	29	1	D	44	2	C	59	3	B
15	0	F	30	1	E	45	2	D	60	3	C

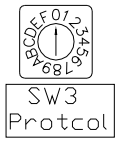
⑵-7) カメラプロトコール選択　「SW3 」　Protcol

本カメラではSAMSUNG　TECHWIN以外のメーカーにも対応します。

SPD-3000、SPD-2500、SPD-1600等は初期設定の「0」をえらびます。

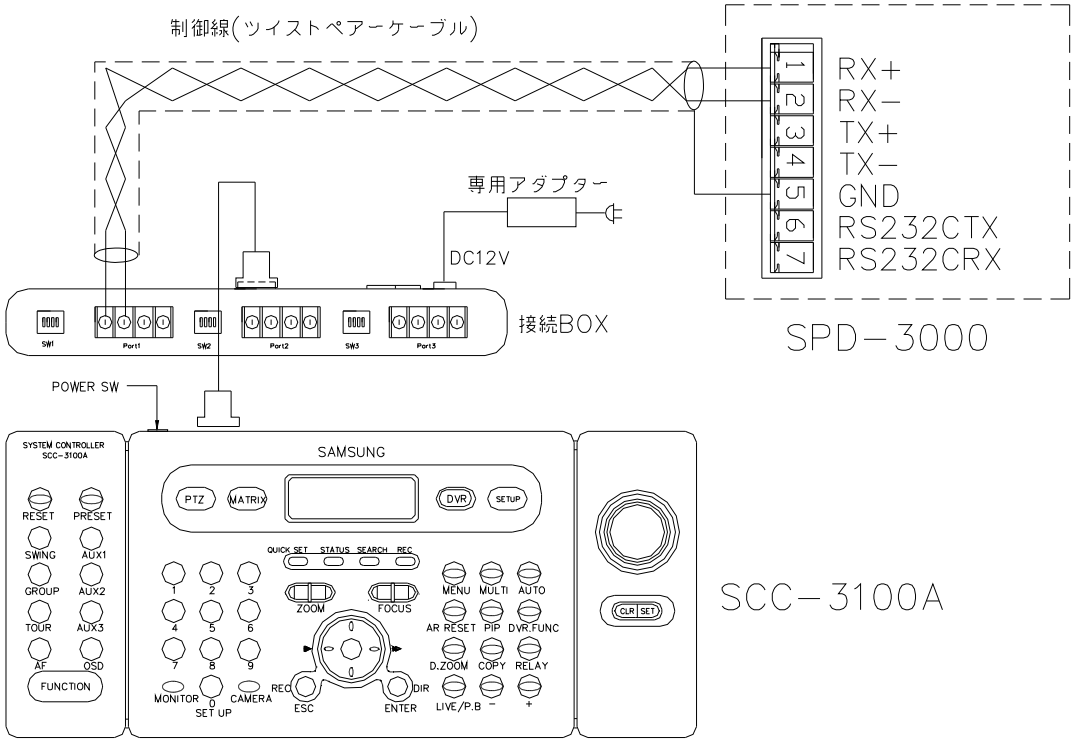
SW	メーカータイプ	ボーレート	備　　考
0	SAMSUNG TECHWIN	9600	SPD-3000,3300
1	SAMSUNG TECHWIN	19200	
2	Pelco-D	2400	
3	Pelco-D	4800	

4	Pelco-D	9600	
5	SAMSUNG ELECTRIC	9600	
6	SAMSUNG ELECTRIC	19200	
7	SAMSUNG ELECTRIC	38400	
8	Panasonic	9600	
9	Panasonic	19200	
10	Vicon	4800	
11	Vicon	9600	
12	予備		



⑵-8) カメラ制御線の接続

標準接続の SCC-3100A コントローラでカメラを制御する場合は、（２－５）項 SW1 を半二重通信で RS-485 通信のため「２芯」で次表の接続図のとおりです。



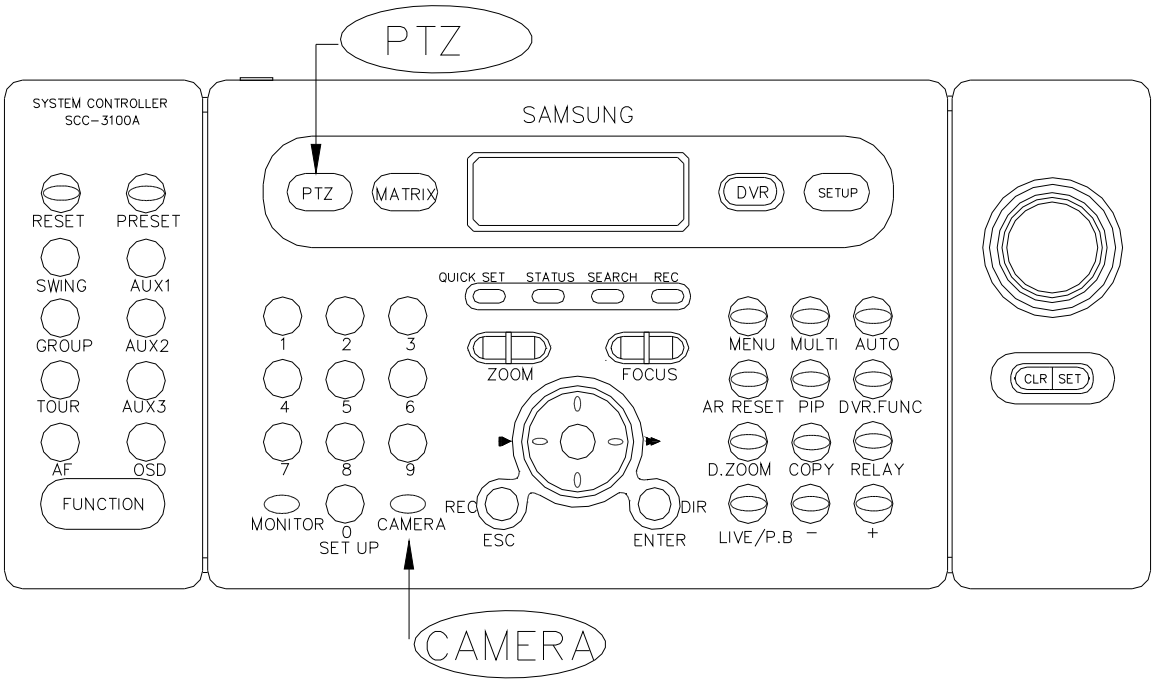
⑵-9) アラーム接続

本カメラに個別のセンサー等をアラーム入力として接続出来ます。また出力もあります。

(細目省略)

3. 設置後の設定および操作

SCC-3100A とSPD-3000 における初期設定及び操作



対応機器

※ PTZ カメラ：SPD-1600N　SPD-2500N　SPD-3000

※ DV R　：SVR-900　SVR-1620　SVR-430　SVR-1630　SVR-1650/40/950 SVR-440

(3-1)　カメラの選択

■「PTZ」キー、カメラ番号(数字キー)、続けて「CAMERA」キーを押します。希望のカメラを選択できます。

```
PTZ CONTROL SYSTEM
CAM ID :  1     SPD
MONITOR :  1    [ - - - ]
        MASTER ID:1
```

■ 他のカメラを選ぶには、カメラ番号、[CAMERA]を押します。
（カメラ No は別途設定します。）

「PTZ カメラの操作」

■ [PTZ]キー、「カメラ番号」を押します。

■ 下記の各キーで操作します。

上下左右　：ジョイスティック

ZOOM　　：ジョイつまみ左右　又は ZOOM キーの「T」「W」キー

FOCUS　：FOCUS つまみ　(+)/(-)キー

(3-2) カメラの設定

●「SETUP」キーを押して、セットアップメニューを開きます。

1図

```
    SETUP   SYSTEM
1 : PTZ       2 : DVR
3 : CONTROLLER  4:EXIT
  Press  Numerric  Key
```

2図

```
    PTZ  SETUP   1
1 : PRESET    2:SWING
3:GROUP     4:TOUR
  Press  Numerric  Key
```

3図

```
     DVR  SETUP
1 : DVR  MODEL SETUP

  Press  Numerric  Key
```

● メニュー画面(1 図)で、PTZ および DVR、CONTROLLER 設定メニューが表示されます。
以下に PTZ の各設定方法を述べます。

「PTZ カメラの設定」

(1)　プリセットポジションの設定

SPD-3000 カメラは、最大 255 ヶ所の位置(ポイント)を記憶させる事ができます。(160,175 除く)
通常 1～253 ポイントまでを通常のプリセットで記憶し、254 番をホームポジションとして使用します。
(ホームポジション＝後述)

(1-1)「SETUP」→「1:PTZ」キーを押し、設定画面を切り換えます。
(1 図)→(2 図)(右図)

```
    PTZ  SETUP   1
1 : PRESET     2 : SWING
3 : GROUP      4 : TOUR
  Press  Numerric  Key
```

(1-2) PTZ モードでカメラ番号「1」、続けて「ENTER」を押します。

(1-3) ジョイスティックまたは「ZOOM」[FOCUS]キーで、カメラを希望するポジションへ(上,下,左、右、ズーム、フォーカス)移動します。

```
    PTZ  SETUP
CAM ID :  1       SPD
PRESET NO :    1
Enter : Preset  ID  Set
```

(1-4) プリセット番号を入力し、「ENTER」を押します。
※ プリセット位置を記憶し、画面が PTZ SETUP 1 画面に戻ります。

「次のプリセット位置の設定」

(1-5)「1」キーを押し再度「PTZ SETUP」画面に切り変わります。
上記と同様にカメラポジションを移動し、プリセット番号[2]を入力します。

(1-6)「ENTER」キーで２番目が記憶されました。

(1-7) 以下同様にその他のポジションを設定し、「ESC」キーで初期画面に戻ります。

「プリセットポジションの操作」

■ プリセット番号を入力します。
※ 液晶画面に選択された番号が「 1」(右図)の様に表示されます。

■「PRESET」キーを押します。
→　設定されたポジションにカメラが移動します。

```
PTZ CONTROL  SYSTEM
CAM ID :   1    SPD
MONITOR: 1    [    1 ]
    Enter : PTZ  ID  Set
```

(2) スイングモードの設定

(2-1)「SETUP」(「2:WING」キーを押し、設定画面に切り換えます。
SPEED：スイング速度　　･･･[120]
STOP ：プリセット位置での停止時間･･･「02」

```
    SETUP   SYSTEM
1 : PRESET     2 : SWING
3 : GROUP      4 : TOUR
  Press  Numerric  Key
```

［水平/垂直スイングの設定］

⑵-2) 水平「1」または垂直「2」キーでスイング方向を選択します。

```
SWING SETUP
CAM ID:  1      SPD
1.:PAN SET   2: TILT SET
Press Numeric key
```

設定例：ﾌﾟﾘｾｯﾄ番号 1－3　移動速度=10　,停止時間=1 秒

「開始点」　　‥‥「ポジション=1」

⑵-3)「.IST」位置で開始ポジション番号を入力します。

※　数字ボタン：01

```
SET PAN SWING
1ST  2ND  SPEED  STOP
01   00   00     00
Enter : Swing Set
```

「終了点」　　‥‥「ポジション=2」

⑵-4)「→」キーで「2ND」に移動し、終了点のポジションを入力します。

※　数字キー：03

「移動速度」

```
SET PAN SWIG
1ST  2ND  SPEED  STOP
01   03   00     00
Enter : Swing Set
```

⑵-5) 別表の速度表を参考に移動速度を、数字キーで入力します。

例：設定値:10　=5 度/秒

```
SET PAN SWIG
1ST  2ND  SPEED  STOP
01   03   10     00
Enter : Swing Set
```

「停止時間」

⑵-6) 開始点と終了点間の停止時間を入力します。

※　数字キー：01

停止時間=1 秒～99 秒

```
SET PAN SWIG
1ST  2ND  SPEED  STOP
01   03   10     01
Enter : Swing Set
```

⑵-7)「ESC」キーで初期画面に戻ります。

※　ESC キーは初期画面に戻るまで、繰り返し押します。

「動作」

■　開始：[SWING]キーを押します。

［1:水平］「2::垂直」いずれかのキーを押します。

停止：ジョイスティック又はコントローラのキーを押す。

```
PTZ CONTROL SYSTEM
CAM ID:  1      SPD
1:PAN    2:TILT
Press Numeric Key
```

下表を参考にスイング速度を入力して下さい

スイング,グループ移動速度

水平移動(パン)				垂直移動(チルト)			
設定値	度/秒	設定値	度/秒	設定値	度/秒	設定値	度/秒
1	0.8	33	23	1	0.8	33	23
2	1.0	34	24	2	1.0	34	24
3	1.5	35	25	3	1.5	35	25
4	2.0	36	26	4	2.0	36	26
5	2.5	37	27	5	2.5	37	27
6	3.0	38	28	6	3.0	38	28
7	3.5	39	29	7	3.5	39	29
8	4.0	40	30	8	4.0	40	30
9	4.5	41	35	9	4.5	41	35
10	5.0	42	40	10	5.0	42	40
11	5.5	43	45	11	5.5	43	45
12	6.0	44	50	12	6.0	44	50
13	6.5	45	55	13	6.5	45	55
14	7.0	46	60	14	7.0	46	60
15	7.5	47	65	15	7.5	47	65
16	8.0	48	70	16	8.0	48	70
17	8.5	49	75	17	8.5	49	75
18	9.0	50	80	18	9.0	50	80
19	9.5	51	85	19	9.5	51	85

20	10	52	90	20	10	52	90
21	11	53	95	21	11	53	95
22	12	54	100	22	12	54	100
23	13	55	110	23	13	55	105
24	14	56	120	24	14	56	110
25	15	57	130	25	15	57	115
26	16	58	140	26	16	58	120
27	17	59	150	27	17	59	130
28	18	60	160	28	18	60	140
29	19	61	180	29	19	61	150
30	20	62	200	30	20	62	160
31	21	63	220	31	21	63	170
32	22	64	240	32	22	64	180

⑶グループモードの設定

メニューで設定した「移動速度」「停止時間」をもつ複数のプリセットポイントを、順次切り換え反復監視する機能です。

◆ 一つのグループのみを使用する場合は、最大６４ポイントがグループに登録できます。

⑶-1）「SETUP」→「3:GROUP」キーを押しグループ設定画面に切り換えます。

```
    SETUP   SYSTEM
1 : PRESET     2 : SWING
3 : GROUP      4 : TOUR
  Press  Numerric  Key
```

⑶-2）「3」キーを押します。グループ設定画面に切り換ります。

⑶-3) グループ番号を選択します。

※　1～6　の範囲

```
     GROUP  SETUP
CAM ID:  1        SPD
GROUP SET NUM? (1～6)
  Press  Numerric  Key
```

「1 番目のプリセット番号」

⑶-4) PRESET にカーソルがあります。１番目のプリセット番号を入力します。

※ 数字キー：01

```
     GROUP  SETUP
NO  PRESET SPEED  STOP
01    00       00     00
Enter: Next      Group:Set
```

⑶-5) カーソルを「SPEED」に移動し、別表を参考に速度を数入力します。

例：50 ー=80 度/秒

```
      SET GROUP
PONT  PRST  SPEED STOP
 01     01      50      00
 Enter: Next      Group:Set
```

⑶-6) カーソルを「STOP」に移動し、停止速度を入力します。

※ 停止時間＝1 秒～99 秒　「数字キー：01」

```
      SET GROUP
PONT  PRST SPEED  STOP
 01    01      50      01
  Enter: Next     Group:Set
```

⑶-7)「ENTER」キーを押します。

１番目のポジションが記憶され２番目「POINT：02」の設定待ち画面に切り換わります。

```
      SET GROUP
PONT  PRST SPEED  STOP
 02   00      00      00
  Enter: Next     Group:Set
```

⑶-8) 以降順次ｄ項～ｇ項を繰り返し、複数のポジションを設定します。

⑶-9) すべてのポジションの設定が終了したら、「GROUP」ボタンを押します。[ESC]ボタンを数度押し初期画面に戻し

```
      SET GROUP
PONT PRST  SPEED  STOP
 0 2   03    240    [01]
```

ます。

「設定確認」

開始：「GROUP」キー＋グループ番号(1～6)
停止：ジョイスティック又はコントローラのキーを押す。

※ 画面に「Preset=001」と表示しグループモードが開始します。

```
PTZ CONTROL SYSTEM
  CAM ID:  1        SPD
GROUP RUN NUM? <1～6>
  Press Numeric  Key
```

(4) ツアーモードの設定

ツアーモードはグループモード(5 項)で設定されたグループ動作を、反復実行させる機能です。
(本機能を使用するには多くのポイントを設定した時有効です)

(4-1)「FUNCTION 」、「SETUP」(0)、「4:TOUR」キーを押しツアー設定画面に切り換えます。

```
    SETUP   SYSTEM
1 : PRESET     2 : SWING
3 : GROUP      4 : TOUR
  Press  Numerric  Key
```

(4-2)「4」キーを押しツアー設定画面に切り換えます。

```
  TOUR SETUP
1. GROUP NUM？ (1～6)

    Enter:Tour Set
```

(4-3) 数字キーでグループ名番号を順次入力します。
※ 数字番号を入力すると、数字がグループ番号として表示されます。(G1 G2 G3 - -)

(4-4)「TOUR」キーを押します。
ESC ボタンを数度押して初期画面に戻します。

```
  TOUR SETUP
1.GROUP NUM？(1～6)
   G1 G2 G3
    Enter:Tour Set
```

動作確認

開始：[TOUR]キーを押します。
※ 画面表示：T-SEQ1(G1)　T-SEQ1(G 2)
停止：ジョイスティック又はコントローラのキーを押す。

(5) トレースモードの設定

省略　　付属の取扱説明書を参照ください。

(6) フォーカス切換

このメニューでカメラ操作停止後、カメラフォーカスを手動又は自動に設定できます。

(6-1)「PTZ SETUP」メニューで「→→」キーを押します。

(6-2) [3]キーを押して「AF」設定画面に切り換えます。
(6-3) カメラ操作後[1]キーを押すと、自動的にフォーカスが調整されます。[2]ボタンを押すと手動でのフォーカス調整となります。
(6-4) [ESC]キーで初期画面に戻ります。

4. OSD メニューによるカメラの設定

コントローラ SCC-310A で SPD-3000 メニューを設定できます。
「PTZ」→「カメラ ID」を入力します。

● 「OSD」キーを押すとモニターにオンスクリーンメニューが表示されます。
● 設定操作
※ 「JOY」 ：カーソル上下移動、左右移動
※ 「ENTER」：次の階層へ　 設定値の確定
※ 「ESC」 ：元に戻る

「SPD-3000」

4-1.「OSD」初期画面

① カメラ部の設定
② 映像切換の設定
③ P/T 関係の設定
④ OSD 表示の設定
⑤ アラームの設定
⑥ 初期化設定
⑦ 設定情報の表示

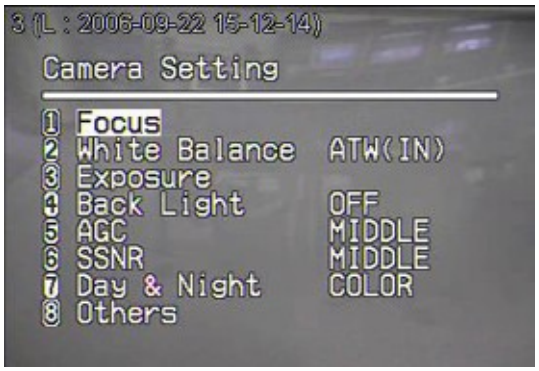
◆「メニューに入る：「OSD」キー
◆ 「FOCUS －」：元に戻す
◆ 「FOCUS ＋」：メニュー次の階層に入る。
◆ 「JOY 上下」：メニュー間の移動

設定変更の操作

[JOY]レバーでメニュー内を移動し「ENTER」で次の階層へ移動し、「ENTER」で項目を白に反転し「JOY」レバーで設定値を変更し「FOCUS ＋」を押し確定する。
さらに「JOY」レバーで他の項目を選ぶ。前の階層に戻るには「FOCUS －」を押す。

4-2. Camera Setting

「JOY」キーで [*] Camera Setting の選択、「ENTER」キーを押し、下図に切り換えます。



「設定の状況」
① 通常「One Stop-AF」に設定。
② 標準の「ATW」に設定。
③ 関東地域で「A.FLK」に設定。
④ 逆光で見にくい時[ON]にします。
⑤ 自動感度調整「Middle」に設定
⑥ ノイズ軽減：通常 OFF に設定。
⑦ D&N：OFF に設定。
⑧ 外部同期,スタビライザー等の設定

「 Camera　Setting」

①「Focus 」フォーカス
Auto/Manual/One Shot AF で３種類の設定できる。レンズを長期間安定に働かせるために出荷設定**「One Shot AF」**の出荷状態で使用する。

②「W hite Balance 」
AWB　Mode：ATW/AWC/MANUAL；出荷設定「ATW(O)」に設定します。Manual：手動設定もできる。

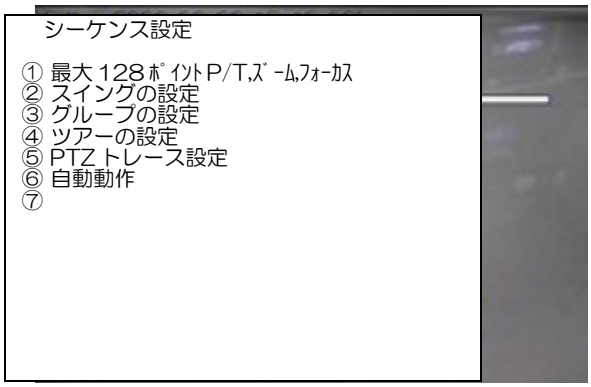
③「Exposure」

Brightness ：輝度レベルを調整します。
Iris アイリス：AUTO；自動の設定で「感度増感」機能がONとなる。　「初期設定:AUTO」
Shutter　：関東地方；「A.FLK」に設定します。手動で1/60～120,000。「初期設定：ESC」
Sens-UP　：AUTO：感度アップ上限値の設定。×2～×128　(出荷設置：×4)
※　シャッター「- - -」に設定した時機能する。
※　シャッター「A.FLK」に設定すると「Sens-UP」は機能しません。

④ Back Light　：ON/OFF
⑤ AGC　：　LOW/MIDDLE/HIGH/OFF
⑥ SSNR ：　LOW/MIDDLE/HIGH/OFF
⑦ Day&NIGHT：　AUTO/COLOR/ B/W に設定可。
8　Others　：
Sync：INTERNAL/LINE LOCK　Stabilizer：ON/OFF　　Image Adj：ON/OFF レベル(2～98)
Fress：OFF/ON

4-3.「S equence Setting」

P/T　関係の各種設定をおこなう。



1　　Preset：　プリセット
Setting：1～128 ポイント設定可。Edit：1～128 ポイント設定可　Excute：1～128 ポイント
Clear：1～128 ポイントクリアー。　Preset　Status：1～128 ポイント設定状況表示。
※　Edit の項目：各カメラのプリセット時のフォーカス、輝度、BLC、D&N、アイリス等の設定。

②　Swing　SEQ：スイングシーケンス　：Pan/Tilt/P/T の設定

3　　Group SEQ　：グループシーケンス　：Group1～Group6 の設定

4　　Tour SEQ：　ツアーシーケンス　　：グループ 1～グループ 6 の設定

5　　PTZ Trace：PTZ トレース　　：トレース 1～トレース 4 の設定

6　　Auto　Run：オートラン　　：モード：プリセット及び時間の設定。
⑦　Power On Resume：　省略

4-4.　P/T　Setting

P/T 設定

① パン位置リミットの設定
② チルト位置リミットの設定
③ エリアの設定
④ マスキングエリアの設定
⑤ P/T の設定
⑥ デジタルフリップの設定

1 Pan Limit ：水平位置動作リミットの設定
Position で水平位置を移動し「一方」を「FOCUS」キーで記憶し、逆方向位置に移動し「FOCUS」で他方を記憶させる。リミット位置を働かせるには ON/OFF で ON に設定する。‥「┃→」「┃←」

② Tiilt Limit ：垂直位置動作リミットの設定
Position で水平位置を移動し「一方」で「FOCUS」キーで記憶し、逆方向位置に移動し「FOCUS」で他方を記憶させる。リミット位置を働かせるには ON/OFF で ON に設定する。 ･･･「ー↓」「ー↑」

③ Area Setting ： 省略

④ Area Masking ：最大４ヶ所のエリアをマスクできます。

⑤ Prop P/T ：省略 ⑥ Digital Flip ：省略

4-5. OSD Setting

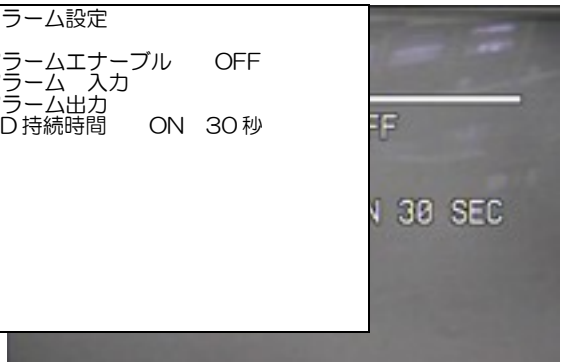
OSD 表示設定
① カメラ ID ON/OFF
② カメラ名
③ プリセット番号 OFF/ON
④ プリセット名
⑤ シーケンスステータス ON/OFF
⑥ エリア名 OFF/ON
⑦ PTZ ポジション ON/OFF
⑧ 言語 English

表示文字を各々表示するか設定する。

4-6. Alarm Setting

アラーム設定

① アラームエナーブル OFF
② アラーム 入力
③ アラーム出力
④ MD 持続時間 ON 30 秒

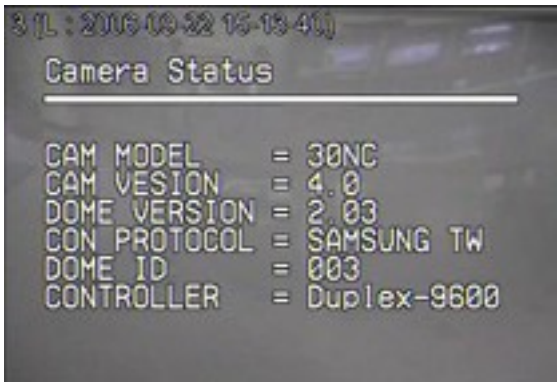


4-7 Initialize

初期化

① パワーオンリセット
② 工場出荷設定に戻します
③ カメラ設定を初期化します
３ オートリフレッシュ OFF/ON

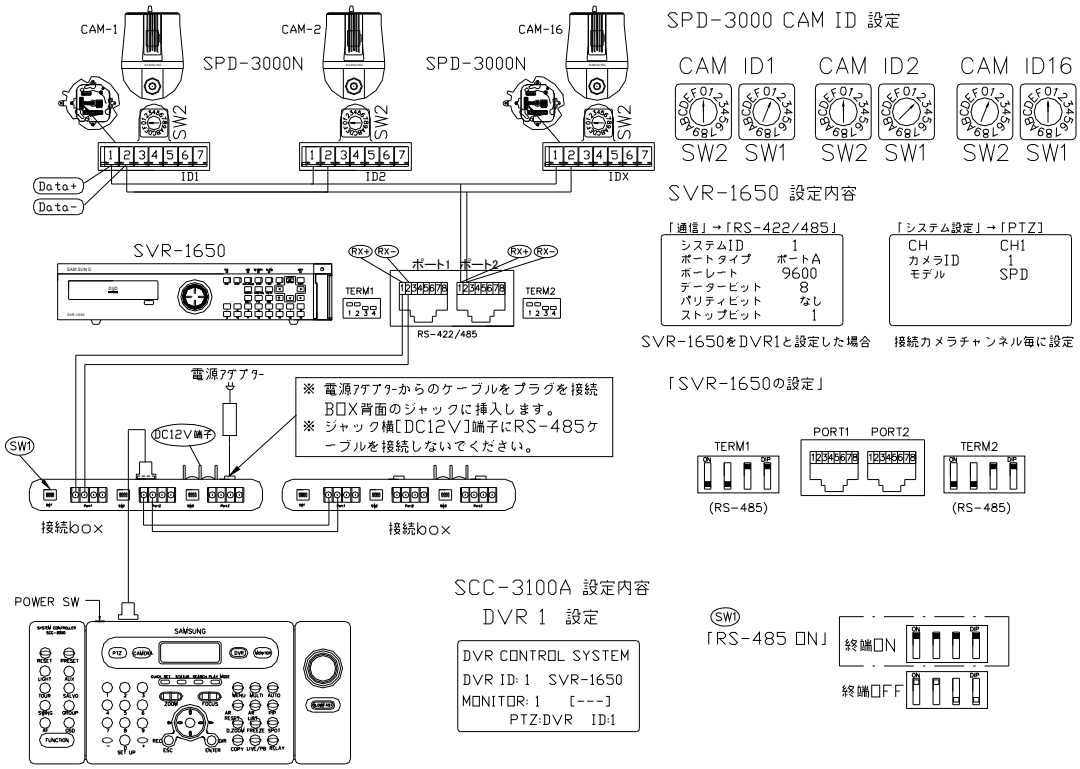
4-8. カメラステータス



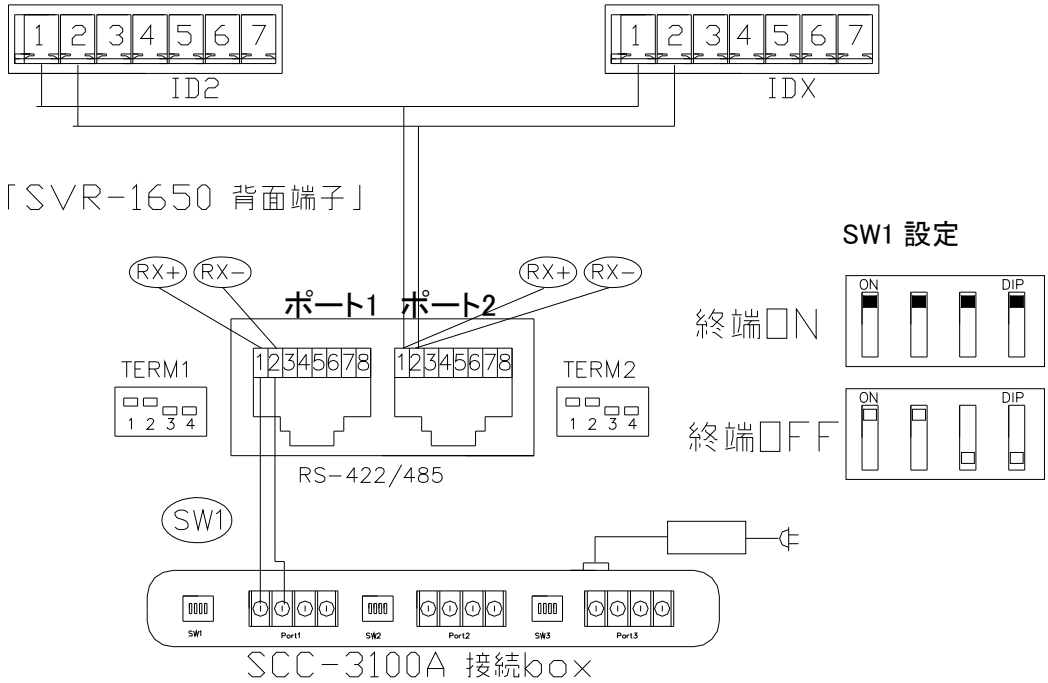
5. DVR を含むシステムにおける設定と操作

SCC-3100A に SPD-3000 カメラ及び SVR-1650 等の DVR を接続した場合の設定。

(1) .接続系統図 「SVR-1650 システム」



SVR-1650　RS-485　接続端子　配列

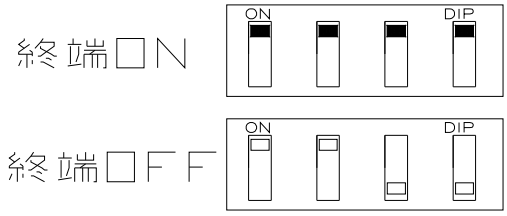


(2) 初期設定

設置接続後、SCC-3100A、SPD-3000、SVR-1650 の各機器の設定を行います。

「SCC-3100A の接続」

SCC-3100A 接続 BOX の DIP-SW を RS-485 ON に切り換えます。



⑶ ＤＶＲの設定

SCC-3100A で「SPD-3000」および「SVR-1650」をコントロールするための設定を行います。

⑶-1） SCC-3100A に SVR-1650 を DVR1 として設定します。

「MENU」→「通信」→「RS-485/422」で「システム ID：1」「ポートタイプ：ポート A」に設定します。(1 図)

⑶-2） カメラ No.1 を「カメラ ID:1」および「モデル：SPD」に設定します。（２図）

(1 図)

「通信」→「RS-485/422」

システム ID	1
ポートタイプ	ポート A
ボーレート	9600
データービット	8
パリティビット	なし
ストップビット	1

(２図)

「システム設定」→「PTZ」

CH	CH1
カメラ ID	1
モデル	SPD

⑷ SCC-3100A での設定

「 DVR の設定 」

⑷-1)「SETUP」キーを押して、セットアップメニューを開きます。(１図)

１図

```
SETUP   SYSTEM
1：PTZ        2：DVR
3：CONTROLLER  4:EXIT
  Press  Numerric  Key
```

２図

```
DVR  SETUP
1：DVR  MODEL SETUP

  Press  Numerric  Key
```

３図

```
DVR MODEL SETUP
DVR I D ：  0 [ 0 ]
MODEL：NONE
 +,－ ：Model Change
```

⑷-2) SETUP SYSTEM 画面で、[2 キー]DVR メニューを開きます。(2 図)

⑷-3)「１キー」を入力し「DVR MODEL SETUP」メニューに切り換えます。(3 図)

⑷-4) [1]キーを入力します。‥‥「例：DVR ID:１」

⑷-5) DVR のモデル候補名が MODEL で表示されます。モデル名を「＋」又は「―」キーで変更します。

※ 例：SVR-1650 の場合

```
DVR MODEL SETUP
DVR I D ：  1 [ 1 ]
MODEL：SVR-1650
+,－ ：Model Change
```

⑷-6)「ENTER」キーで記憶します。

画面が(2 図)の DVR　SETUP 画面に戻ります。

⑷-7) 他の DVR を設定する場合は、DVR SETUP メニュー(2 図)で「1」キーを押し、２番目の DVR を設定するため[2]キーを押します。上項と同様「+,-」キーで DVR を選び「ENTER」を押します。

⑷-8) 他の ID も同様に設定します。

⑷-9)「ESC」キーを押し初期画面に戻ります。

「カメラの操作」

●「DVR」キーを押します。

●「CAMERA キー」→「1 キー」→「ENTER」キーを押します。
No.1 カメラが選択されます。

DVR CONTROL SYSTEM
DVR I D ：1 SVR-1650
MONITOR：1 [- - -]
MASTER ID:1

● 下記レバーボタンでカメラを操作します
左右上下操作 ：JOY スティックレバー
ズーム操作 ：「ZOOM」の「W」及び「T」キー
フォーカス ：「FOCUS」の「—」及び「＋」キー

「DVR 画面の切換」

● 「DVR. FUNC」キーを押し、モニター画面に操作メニューを表示させます。

● 「→→」キーで「表示」に移動し「ENTER」キーを押します。(左上図)

● メニュー画面が変わりチャンネル「表示」画面に切りかわります。(右上図)

● 表示画面で「→、←,↓、↑」キーで各チャンネルを選び「ENTER」キーを押します。
※ 指定したシングル及び分割画面に切り替わります。

「サーチ再生」

● 「SEARCH」→[ENTER]→「↓,↑,→→,」でサーチ時間を設定し「OK」で開始します。

● 「→→」で高速再生、「DIR」で逆転、「→」で「PAUSE/PLAY」、「■」で STOP 操作

「その他の操作 」

SCC-3100A 右ブロックの各キーを押すと直説 DVR 前面ボタンと同様に動作します。
直接操作できない機能は「DVR.FUNC」キーから画面表示に従って操作できます。

※ 操作キーを受け付けない場合は「ESC」キーを数度押して初期モードに黙してください。

6. 機器の選定及び設置内容

プリセットカメラシステムには複雑な組み合わせのものもあります。

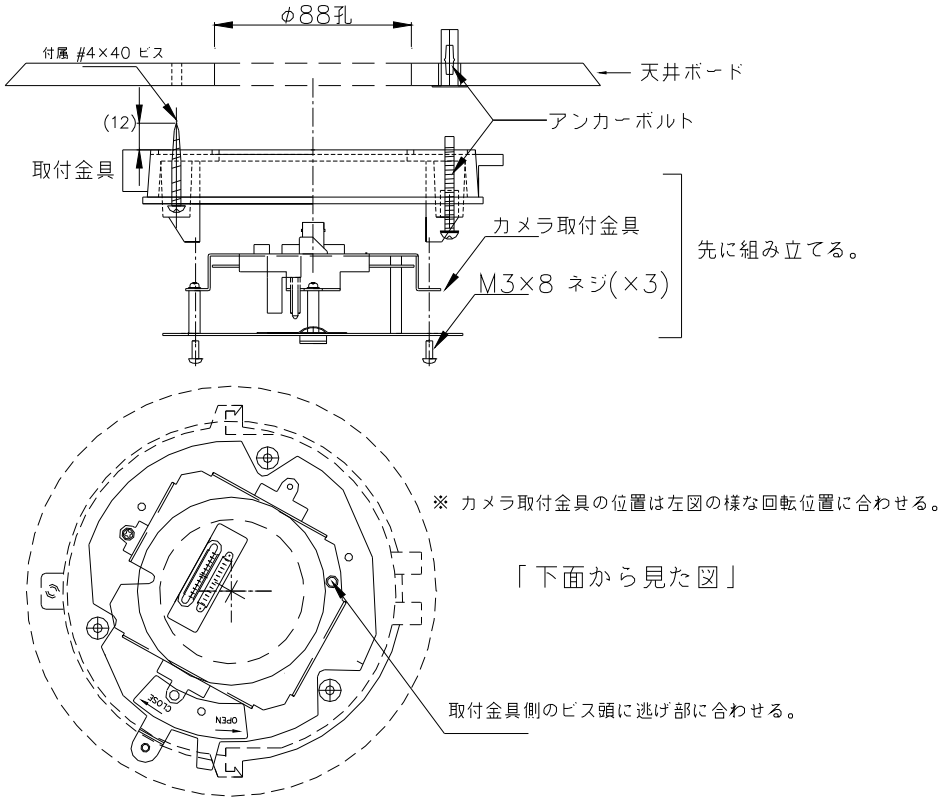
機　器　名				
プリセットカメラ　SPD-3000	1	1	1	
カメラ取付金具　（付属品）	1	1	1	
天井直付金具　STB-330PC	1			
天井埋め込み金具　STH-330PE		1		
壁面設置用マウント　STB-270PW			1	
ハウジング(屋内/屋外)　STH-330PI/PO			1	
専用カメラ電源　（付属品）	1	1	1	
システムコントローラ　SCC-3100A	1	1	1	

1　天井直付け

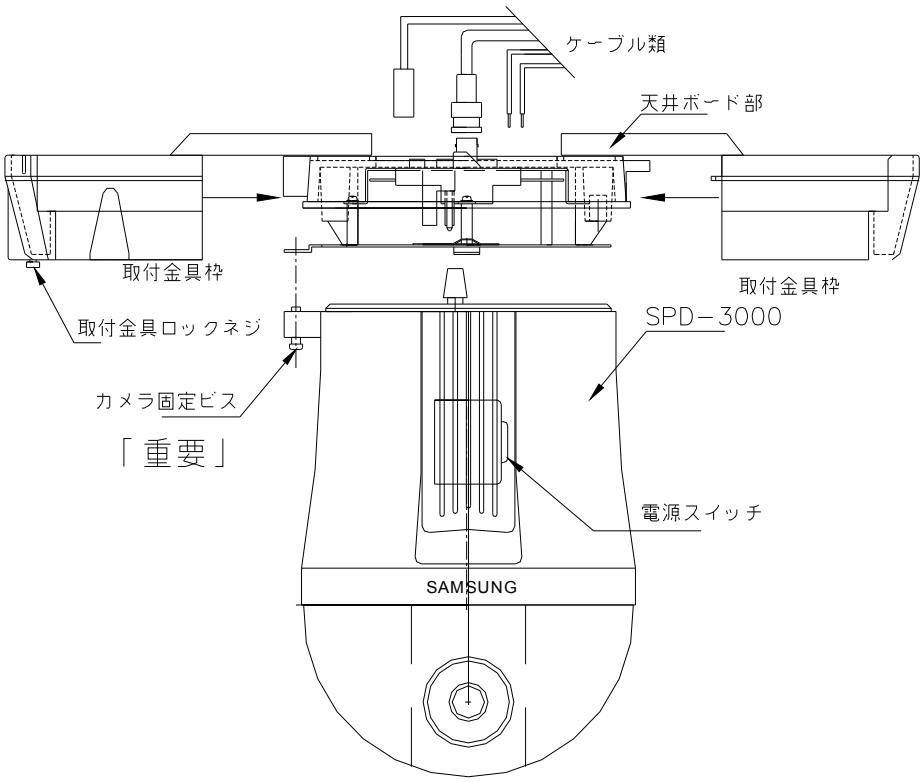
- 天井部に「φ88」孔をあけケーブル類を天井孔から下に引き出します。
  ※ カメラ電源アダプター AC24V、映像要同軸ケーブル(BNC 付き)、RS-485 制御ケーブル。
- SPD-3000 カメラ付属の取付金具を、先に STB-330PC 取付金具に固定します。(M3×8)等
- 取付金具を天井に固定する前に「ケーブル３種類の接続」及び「カメラ ID、RS-485 負荷抵抗、コントロールプロトコールの設定」を行います。

- 上記で組み立てた取付金具一式にケーブル類を接続し、天井に固定します。(ネジ寸法：付属#4×30)

※ 天井材質が石膏ボードの場合、取付ネジを「アンカーボルト」で固定する事もできます。(1 層又は２層用)
※ なお強度が不足な場合は天井裏に補強材を入れ、共締めまたは別途ボルト等で固定し手ください。
※ 質量；取付金具=1.4Kg　カメラ SPD-3000=2.1Kg　カメラ取付金具=0.5Kg　総計＝約 4Kg



- SPD-3000 カメラを下より挿入し右に回し固定する。**さらにカメラ付属固定ビスを上部取付金具に締め付け落下防止とする。**

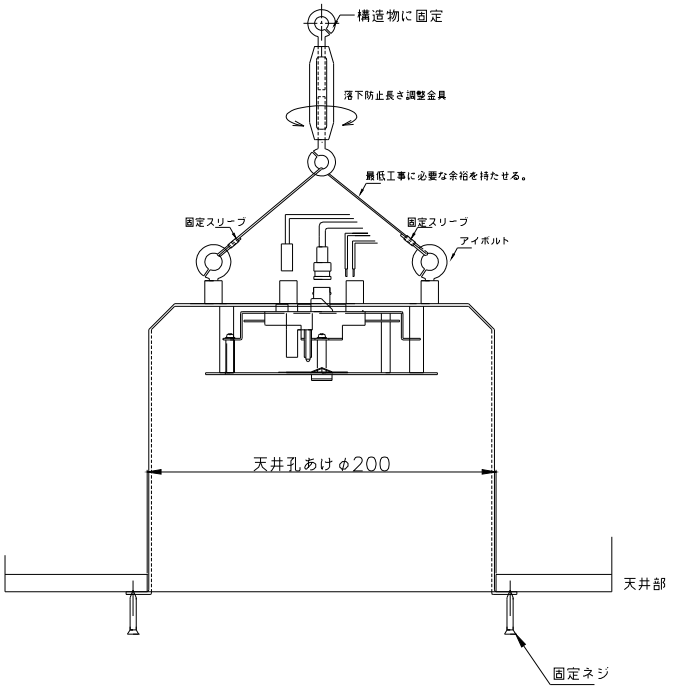


● 取付枠を上図右を天井にこするように右から左へ挿入し金具中央部でロックする。その後もう一方の
取付枠を左より中央方向にスライドさせ左右完全に勘合させ、左枠下部のビスで取付金具にロックする。

● カメラ横窓を開き「電源スイッチ」を「ON」に切り換える。

2 天井埋め込み （STH-330PE）

● 天井部に「φ90」孔をあけケーブル類を天井孔から下に引き出します。



● 天井埋め込み金具の落下防止の処理を行います。埋め込み金具取付、ケーブル接続のための余裕を取ります。

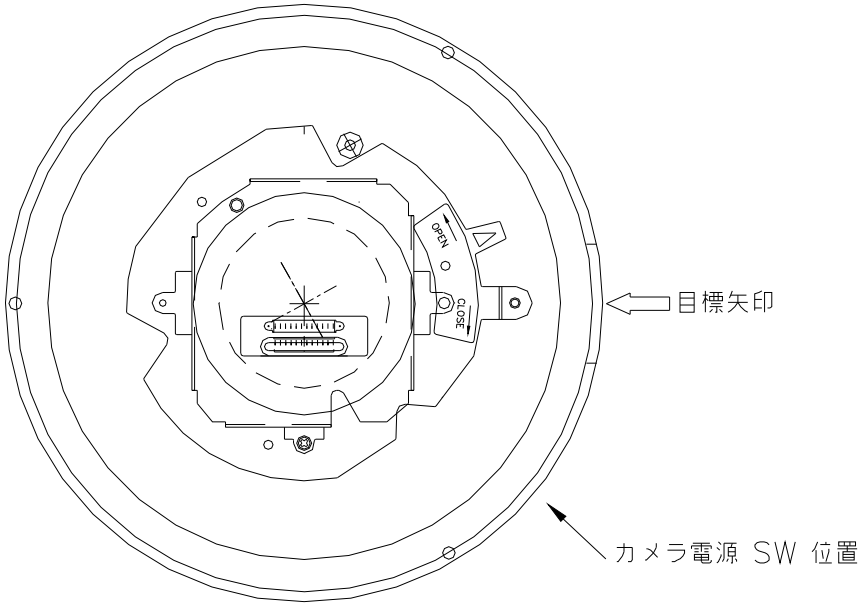
● カメラ取付金具の設定及びケーブルを接続し、埋め込み金具に固定します。(M3×8)

● 取付金具を天井に固定する前に「ケーブル３種類の接続」及び「カメラ ID、RS-485 負荷抵抗、コントロールプロトコールの設定」を行います。

※ カメラ電源アダプター AC24V、映像要同軸ケーブル(BNC 付き)、RS-485 制御ケーブルの接続。

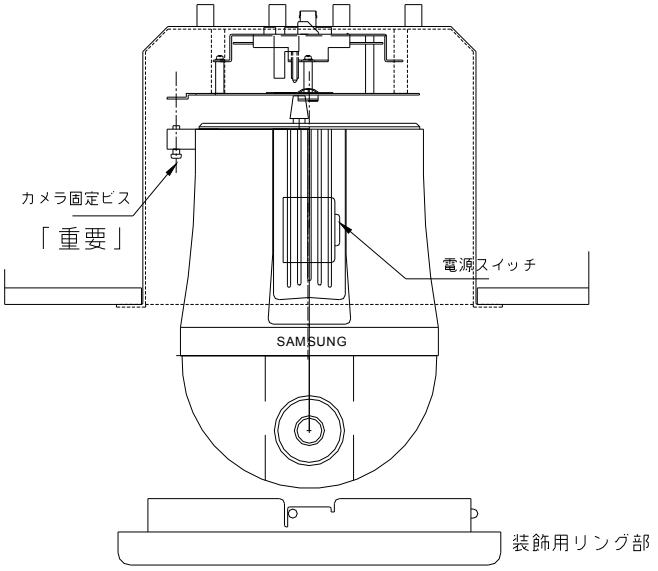
※ カメラ取付金具の矢印と埋め込み金具内側の「矢印」との位置を合わせます。

※ 矢印位置を合わせると「カメラ電源スイッチ」を天井裏で「ON/OFF」が容易です。



※ なお強度が不足な場合は天井裏に補強材を入れ、共締めまたは別途ボルト等で固定し手ください。

※ 質量；天井埋め込み金具=1.2Kg　カメラ SPD-3000=2.1Kg　カメラ取付金具=0.5Kg　総計＝約 3.8Kg



● SPD-3000 カメラを下より挿入し右に回し固定する。**さらにカメラ付属固定ビスをカメラ取付金具に締め付け落下防止とする。**

● カメラ横窓を開き「電源スイッチ」を「ON」に切り換える。

● 装飾用リングを下から挿入し天井埋め込み金具に勘合し、右に回してロックします。

3 壁面取付 (STB-270PW・STH-330PI/PE)

- 壁面躯体に「壁面設置用マウント」を付属の「#4×38」または同等ネジで固定します。
- 壁面設置用マウントを取付前に、接続ケーブルを挿入し壁面部に**「ケーブル貫通孔の加工」**が必要です。

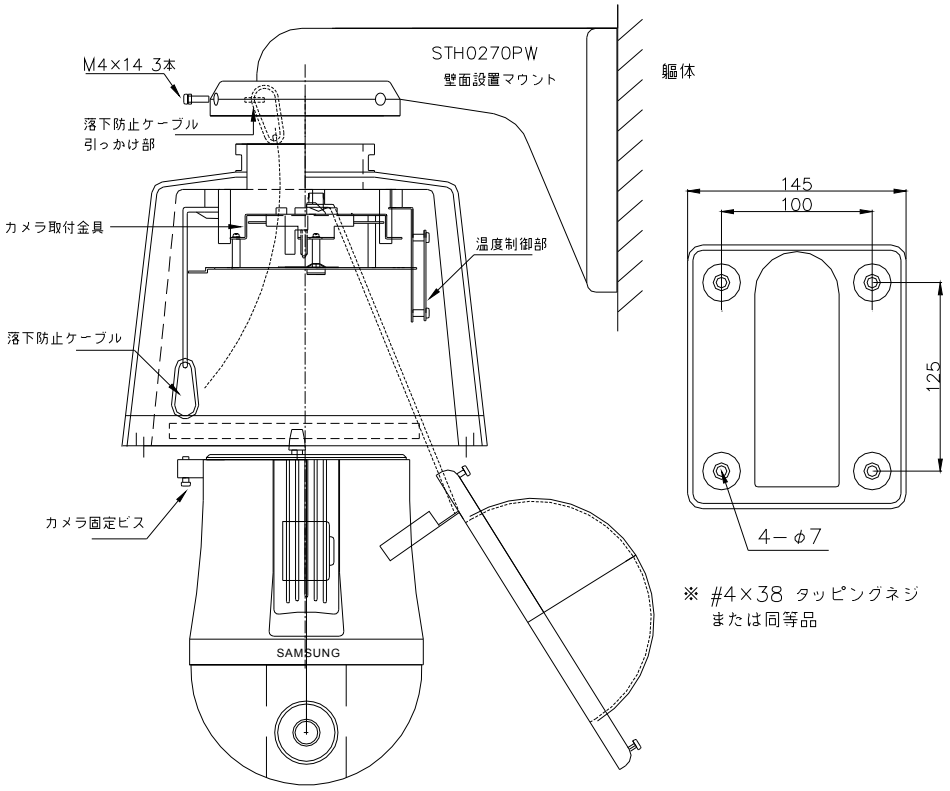
※ カメラ電源アダプター AC24V、映像要同軸ケーブル(BNC 付き)、RS-485 制御ケーブルの接続。

- カメラハウジンを壁面設置用マウントに M4×14 ネジで取り付けます。

※ 取付前にハウジング落下防止ケーブルを壁面設置用マウントに引っかけます。

※ ハウジング取付前にカバーを外し落下防止ケーブルも外しておく。

- カメラ取付金具の矢印と埋め込み金具内側の「矢印」との位置を合わせます。



- SPD-3000 カメラを下より挿入し右に回し固定する。**さらにカメラ付属固定ビスをカメラ取付金具に締め付け落下防止とする。**
- カメラ横窓を開き「電源スイッチ」を「ON」に切り換える。
- 保護カバーとハウジング間の落下防止ケーブルをネジで固定し、ハウジングに勘合後ネジで固定します。

※ 屋外ハウジングの場合：放熱フアン、ヒーターケーブルをコネクタに差し込みます。

「全般な注意点」

※ 設置工事は「雨の日」には絶対行わないでください。ハウジング内部に湿気が入り「くもり」等の原因となります。またハウジング内に「シリカゲル」等の乾燥剤を入れても効果は一時的です。
基本的に内部のほこり等の汚れを完全に除去し、ハウジング外部の隙間にコーティングを実施すると効果があります。

※ 具体的には壁面設置用マウントと壁面部の密着部、マウントとハウジング部にコーティングを行い、及び下部透明カバーの締め付けを確実に行ってください。

以上